

水と油の関係

～混ぜるものと混ぜられないもの～

「水と油」はたがいに混じり合わないものとして、仲の悪い関係のたとえとしてよく使われます。それでは皆さんは、なぜ水と油が混ざらないのか説明できるでしょうか？実はこれは奥が深く、化学的に重要な現象でもあります。なぜなら、水と油を構成している非常に小さな「分子」の性質によるものだからです。実際に水と油といくつかの薬品を使って、混ざらないとはどういうことなのか、実験してみましょう。また、一口に油と言ってもいろいろな種類があり、中には水と油の中間の性質を持つ液体もあります。そのような液体の性質を探る実験も行います。

国際化学オリンピック金メダリストの講演者が、それぞれの結果を、身近なところに応用されている例を紹介しつつ、初歩の初歩の化学から解説します。台所に隠された化学現象に、ちょっと目を向けてみませんか？中1生から高校生、保護者の方までどなたでも歓迎です。ご家族、ご友人お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。お待ちしております。



■ 講演者：遠藤 健一 (えんどう けんいち)

K会化学科講師／東京大学 理学部化学科／国際化学オリンピック金メダリスト

●開催日時：12月14日(日)

14:00～16:00(開場13:30～)

●会場：K会本郷教室(河合塾本郷校2階)

●参加費：無料(筆記用具をご持参ください)

●申込方法：K会事務局(本郷教室)までお電話ください。

※定員になり次第、締切とさせていただきます。

☎ 0120-540-315

受付時間13:00～20:00(日・祝休み)

※講習・イベント時除く

